

2019

7月1日

月曜日

建設新聞

対人

宮城県外の活動増で会員増強

日本建築構造技術者協会(JSCA)

東北支部長に就任した

平山 浩史氏



◎……「東北6県での活動の場を広げたい」と第一声。2019年度から20年度までの東北支部活動方針にも同じテーマを掲げており、「会員は宮城、特に仙台近郊に集中しており、支部活動も自ずと宮城県内の開催が多い」ことから、賛助会員の技術発表会、講習会、

現場見学会などの宮城県外での開催に意欲を見せる。

◎……支部の課題として、会員増強を掲げる。会員が高齢化しているため「このままだと会員が少くない、収入が増えない、活動ができず、JSCAの認知度が低くなるという負のスパイラルに

Aの認知度を高め、県外会員の増強につなげるなど、正のスパイラルに変えていく」と力を込める。

◎……本年度、新たに「技術伝承委員会」を設置。「支部長や委員長を経験したベテランを中心に、委員会や幹事会の相談役を担う。また、これから増やしたい若手一般会員との意見交換会を企画するなど、交流を図って若手技術者の育成にもつなげていく」考えだ。

さらに「設計は構造だけでは成立しない。設備関係団体との連携企画や、建築家らとの意匠デザインと構造デザインに関する意見交換などができるかもしれない」と、他団体とのコラボレーション活動を視野に入れている。

◎……1987年に芝浦工業大学大学院建設工学専攻修了後、大成建設に入社。2006年に同社東北支店設計部課長、15年に同支店設計部長。これまで仙台トラスタワーの設計などを手掛けてきた。JSCA東北支部では15年から2期にわたって副支部長を務め、ことし6月の総会で支部長に就任した。

※ ※ ※

ひらやま・ひろし 1962年4月12日生まれ。東京都品川区出身。趣味はスポーツ鑑賞や料理など。57歳。

陥る」と危機感を「会員、特に若い会員を集め、増収にして宮城県外の活動も展開したい。JSCC